

沖縄の地域資源の活用・沖縄生まれのおすすり商品

島の素材でつくる
「地域ブランド」デザイン

沖縄デザイン雑貨

活用した地域資源

和牛、八重山ミンサー、八重山上布

事業概要

有限会社ティラ・アースはものづくりを通して、「石垣島に感謝し、石垣島で愛され、石垣島に喜びを提供する」を理念に伝統工芸と島の素材のコラボレーションで機能性、ファッション性に優れた商品開発を行い、石垣島より「地域ブランド力」を発信している。



有限会社 ティラ・アース
代表取締役社長 平良静男さん

生産者インタビュー

今回活用している地域資源は
何でしょうか？

地域資源としては幅広いのですが、石垣島に伝わる伝統的な模様や県産牛の皮等、石垣島の普段の生活の中で日常的に使われているものを加工して、商品を開発しています。もともと、地域資源を活かした物づくりが私達の中でのテーマでした。

具体的には
どのようなものでしょうか？

今あるのはバックですが、分りやすく言えば一例として、伝統的な柄を組み込んだ県産牛の皮のバックがあります。つくる時に重要なテーマがあり、島の生活で必要とされるのか？それが一つのブランドになる要素だと思います。例えば、私が普段使っているバックですが、表に伝統柄が入っているのではなく、さり気ない所に使用されているのが特徴です。また機能的にも石垣島の生活のスタイルに合わせてつくっています。石垣島は車社会で、このバックは車の助手席にさり気なく置けるようなイメージでつくっています。



県産牛の皮でつくったバックとアダンの根っこで編み上げたバック

ターゲットは観光客という
わけではないのですか？

基本的に私が提案している商品は観光客だけではなく、石垣島で物をつくって石垣島の人に評価されないと、本当の意味で観光客に認められないし、ながい目でのイメージ作りにはならないんじゃないかと思っています。地元の人に認められる商品じゃなければ、本当に沖縄、石垣島が好きの人には受け入れられません。石垣島を好きな人は、沖縄が好きの人の中でも特殊で、地元で食べられているものや、普段の生活で使われているものに興味を持ちます。私達は、地元根ざし、日常愛され、喜ばれる商品を作っていきたいと思っています。これが私達の考える石垣島より発信する「地域ブランド力」だと思います。

他はどのような
ラインナップがありますか？

今回の地域資源活用では、アダンの根っこで編み上げたバックや、持つ部分を海人が漁で使うロープを加工してつくったバックです。ただ残念な事にほとんどが一点ものです。手作りですからほとんどが島内で消費されています。

と
思っています。

地元の人に認められてこそ「地域ブランド」という信念は、こだわりと地元愛の結晶だと言える。石垣島発信のブランドが世界を駆け巡るのも夢ではない。



有限会社 ティラ・アース
〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町3番地
TEL 0980-84-1507 FAX 0980-84-1509
http://www.tilla-earth.com/

今後、
地域資源を
利用して
つくりたい
ものは
ありますか？

今、石垣島から沖縄本島や県外、海外へ羽ばたく人が多くなってきたり、その人たちに地元の匂いするものとして、石垣を思い出し、もろうための商品も何か提案できたら